

学生研究奨励金事業における研究結果概要書

島根県立大学地域政策学部 寺迫 麟

研究テーマ

「協働による持続可能なまちを実現するために浜田にはどんな中間支援団体が必要か」

1. 研究概要

私はこれまで浜田市が設置した浜田若者会議で中間支援組織の立ち上げの準備と共に活動をおこなった。そして浜田市の新たな中間支援組織である「はまだ協働学舎ファンタス」を立ち上げ、共同代表の一人を担っている。今回の研究では浜田若者会議の活動を中心に浜田市が掲げる協働のまちづくりと照らし合わせながら浜田市においてどのような中間支援組織が必要なのかを検討及び、社会実験も重ね研究をした。そのような活動、研究を行うことで浜田市の抱える課題もみえてきた。

浜田市には島根県立大学浜田キャンパスが位置しており若者を中心としたまちづくりを行う際に県立大学の学生の存在は、非常に重要なものだと研究を通じて改めて感じた。また、島根県立大学浜田キャンパスでは、新学部である地域政策学部が新設され地域でアクションを起こしたいと考える学生が増加している。しかしながら、交通サービスの充実が図られていないなど様々な課題があるということも研究活動で明らかにすることができた。研究活動として明らかにするだけでなく、そのような課題を改善するためにも、浜田市への提言も活動の一環としておこなった。

2. 調査結果から期待できること

浜田市が設置した浜田若者会議の活動から中間支援組織である「はまだ協働学舎ファンタス」が立ち上がることで、研究で明らかになった課題の改善に大きくつなげることができると考える。特に浜田市においてはこれまで若者を中心とした世代が挑戦するためのトータルサポートの機能を上手く見える化することが出来ていないという現状があった。しかし、組織の立ち上げによって若者の目線であらゆる世代をつなぎ浜田での暮らしの中で多くのチャレンジをすることが可能になると考える。これは、浜田市の発展として大きな一歩になるに違いないと考えており、今回の研究の機会により浜田市の活性化に向けて大きな可能性を見いだすことが出来たと考える。